

○ 次の六問（漢文・梵文）の中から、二問を選んで記せ。問題番号を明記せよ。漢文は縦書、梵文は横書の解答用紙に解答すること。

一、次の文章を書き下し文にせよ。

周南之妻者周南大夫之妻也大夫受命平治水土過時不来妻恐其懈于王事蓋與其鄰人陳素所與大夫言国家多難惟勉強之無有譴怒遺父母憂昔舜耕于歷山漁于雷澤陶于河濱非舜之事而舜爲之者爲養父母也家貧親老不擇官而仕親操井臼不擇妻而娶故父母在當與時小同無虧大義不罹患害而已夫鳳皇不罹于蔚羅麒麟不入于陷穽蛟龍不及于枯澤鳥獸之智猶知避害而況于人乎生于亂世不得道理而迫于暴虐不得行義然而仕者爲父母在故也

二、次の文章を書き下し文にせよ。

一則純二則雜純則誠雜則妄此常物之大情也夫天之所以爲天也沖漠無朕而萬物兼該無所不具然其爲體則一而已矣未始有物以雜之也是以無聲無臭無思無爲而一元之氣春秋夏冬晝夜昏明百千萬年未嘗有一息之謬天下之物洪纖巨細飛潛動植亦莫不各得其性命之正以生而未嘗有一毫之差此天理之所以爲實而不妄者也若夫人物之生性命之正固亦莫非天理之實但以氣質之偏口鼻耳目四支之好得以蔽之而私欲生焉是以當其惻隱之發而伎害雜之則所以爲仁者有不實矣當其羞惡之發而貪昧雜之則所以爲義者有不實矣

三、次の文章を書き下し文にせよ。

元始洞玄靈寶赤書五篇真文生於元始之先空洞之中天地未根日月未光幽幽冥冥无祖无宗靈文晦曖乍存乍亡二儀待之以分太陽待之以明靈圖革運玄象推遷乘機應會於是存焉天地得之而分判三景得之以發光靈文鬱秀洞映上清發乎始青之天而色無定方文勢曲折不可尋詳元始鍊於洞陽之館治於流火之庭鮮其正文瑩發光芒洞陽氣赤故號赤書靈圖既煥萬帝朝眞飛空步虛旋行上宮燒香散花口詠靈章

四、次の文章を書き下し文にせよ。

問此教行人有所入門耶答有問以何爲門耶答以菩提心爲門問何故偏以菩提心爲門耶答若除菩提心更無一故云爾也問爾此菩提心爲門有所到處耶答有之也問爾以菩提心爲門到何處耶答入如來境界也問如來境界何物耶答諸衆生自心言如來境界也問凡聖各異何指衆生自心言如來境界也答衆生自心外無如來境界故云爾問爾指凡夫衆生而可名如來境界何名凡夫耶答就性德理而名如來境界都凡夫也

五、次の文章を書き下し文にせよ。

夫以人中之尊猶現四枯之相天上之樂終爲五衰之悲況於凡身乎況於下界乎大都苦輪之中不免生死者也二品長公主今年五月忽以入滅矣公主春秋十有五初入內一咲再顧既是羅山之舊容玄鬢翠蛾莫不洛川之麗質彼蓬萊洞之花非不芳素意久期七覺長秋宮之月非不潔宿望偏在三明不以受恩寵爲榮唯以逃俗塵爲志嗟呼晨昏所誦者提婆品造次所念者彌陀尊去月十九日請故延曆寺座主大僧正良源爲戒師終以入道焉凡此界古今夫人之出家也或及暮齡爲寡婦或多愁恙無依怙之人等也

六、次の梵文を和譯せよ。

※この部分は、著作権の関係により掲載できません。

受験番号	
氏名	カナ
	漢字

この欄以外に受験番号、氏名を記入しないこと。
漢字氏名がない場合は、ひらがなで記入すること。

———ここから記入すること———

東洋哲学

総 点

(裏へ続く)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

——ここから記入すること——

東洋哲学

——ここから記入すること——